

## ～参観日道徳科の授業～

資料：「絵葉書と切手」（「新・みんなの道徳」）

ねらい：友達との心のつながりの大切さを自覚して、互いに信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。

あらすじ：転校した正子から絵葉書が届いたが、定形外のため料金不足だった。そのことを正子に伝えるかどうか迷ったひろ子は、友達だからこそ間違いを教えることを選んだ。



### ○子ども達のふりかえり

ひろ子さんはちゃんと友だちを思う心をもって、正しい行動をしたと思います。わたしもひろ子さんみたいにマネをして、まちがっていることはきちんと教えてあげたいです。

「絵葉書と切手」を読んで、自分がひろ子さんだったらどうするかと、正子の気持ちを考えながらお手紙の返事を書くことができました。勇気をもって友だちに言えるのがすごいと思いました。

もし友だちがまちがっていたら、正直に言ってあげることがいいんだと分かりました。友だちを大事にして、勇気をもって優しく言おうと思います。



子ども達は、友達のために自分はどのように行動をしたらよいのかを考えることができました。友達を思いやるからこそ、間違いを伝えるかどうか迷う登場人物の気持ちに寄り添いながら考え、友達と互いに信頼し合い、助け合うことの大しさについて理解を深めることができました。

日々の道徳科の授業で考えたことや友達との対話から新たに発見したこと等を実生活に生かし、道徳性を育てるよう見守ったり声をかけたりしていきます。また、ご家庭での様子や成長を感じられたエピソードも教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。